

地域での信頼確立に向けた取り組み [高齢]

社会福祉法人を事務局とした中学校区単位での地域福祉活動計画の策定

中学校区を単位とした地域福祉活動計画について、町内会内の主たる住民組織の長を委員とする計画策定委員会を構成し、社会福祉法人が事務局となり、計画を策定した。また、アンケート調査を行い、地域の課題等を取りまとめた小冊子を地域住民に配布したことを通じて、地域との相互理解が深まりつつある。

静岡県

社会福祉法人

美芳会

〒417-0815 静岡県富士市増川505-2

TEL: 0545-39-0061 FAX: 0545-39-0064

○法人設立年／平成8年

○法人実施事業

- ①経営施設数合計：2施設
- ②経営施設・事業【種別毎の数】：
特別養護老人ホーム…1、デイサービスセンター…1

○法人の理念・経営方針

- ・地域でのこころ豊かな生活のために
- ・想いに副う

○取り組みの法人での位置づけ等

法人における5ヵ年計画の一環として

○取り組みを実施している施設の概要

【施設名】

元吉原在宅介護支援センターはまかぜ

【施設種別及び利用定員】

在宅介護支援センター

○活動内容

- ◇活動開始年：平成20年10月
- ◇活動の対象者：
地域（住民）
- ◇活動の頻度・時間：
月1回計4回、1回あたり2時間程度の
会合

活動実施の背景、実施にいたった理由

- ①地域福祉について市町村社協の課題が少なくない。
 - ・市町村社協の活動方針の違いが相当に大きい。
 - ・市町村の合併に伴い、市町村社協も合併し、小地域に目が届きにくい。
 - ・市町村社協が推進する地域福祉に社会福祉法人の係わりが弱い。
- ②社会福祉法人が地域とネットワークを形成する必要がある。
 - ・一般に社会福祉法人と地域住民との係わり合いは点と点になりがちで、ネットワークとなりにくい。
 - ・地域包括支援センターの創設もあり、社会福祉法人が地域に係わる必要性が増大している。
 - ・福祉施設職員の育成も考え、コミュニティーワークを実践する環境を整備する必要がある。
- ③県社協その他で助成金事業があり、それを利用することを考えたかった。

実施内容

富士市において、小地域での地域福祉活動計画はこれが最初であり、静岡県内としても少数である。富士市社協において同様の計画を策定する予定は現時点ではなかったため、町内会長等と話をした結果、これを策定することで合意を得たため、次の方法をとることとした。

- ①今回の地域福祉活動計画を「地域福祉推進計画」という名称にした。
- ②町内会内の主たる住民組織、福祉団体、教育施設等の長を委員とする地域福祉推進計画策定委員会を構成し、社会福祉法人が事務局となった。
- ③住民全戸へのアンケート調査及び委員会での検討会議を行い、地域の課題及びその対応方法を明らかにした。
- ④これらを小冊子にとりまとめ、地域住民に全戸配布した。

⑤小冊子の計画内容

I 計画の全体像

…計画の（全体）目標、地域福祉の課題（短期、中期、長期）、行動計画（地域住民、町内会等による）

II 計画の詳細（I の設定の説明）

III 関連資料

主な経費や財源及び人員等

（年間あたり）

主な経費	経費概算額	主な財源	財源概算額
会議費	7,920円	県社協助成金	300,000円
消耗品費	13,200円	法人拠出金	46,720円
学識経験者謝礼	40,000円		円
印刷製本費	285,600円		円
<合計>	346,720円	<合計>	346,720円

- ・取り組みに係わった職員数 5名
（職種等：理事長、施設長、相談員）

活動効果（利用者や職員、地域などの反応、影響）

①地域住民の反応：

少数ではあるものの、地域福祉推進計画策定委員会への参加希望や問い合わせがあり、町内会としても活動の効果であると評価している。

②地域連携の深化：

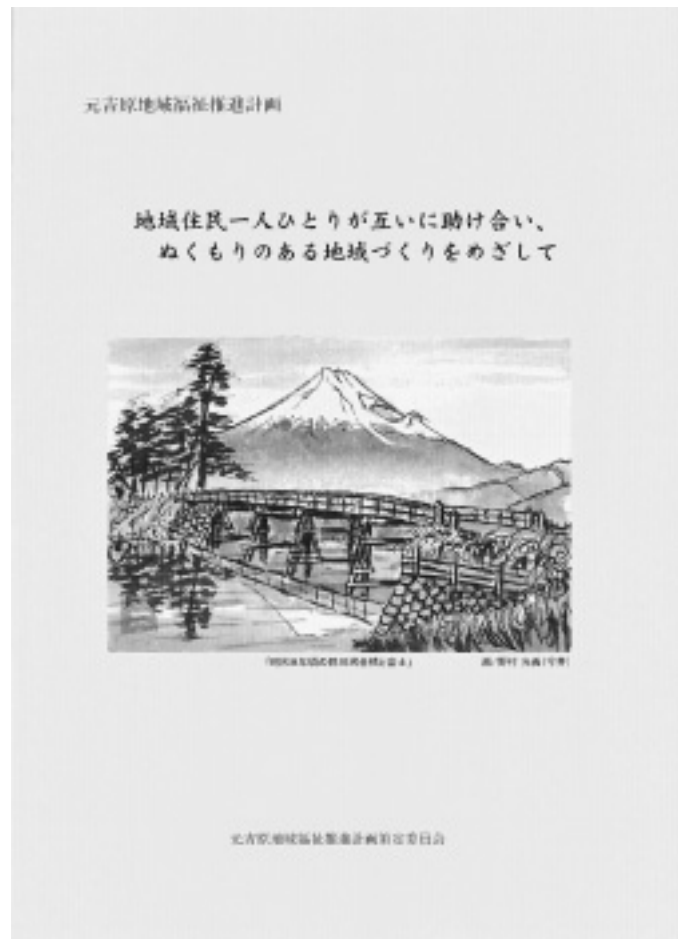
様々な地域住民組織の代表者と地域課題を検討し計画書策定の共同作業を行ったため、それぞれの組織の詳細な役割や活動方法について相互理解が深まったことを感じた。

③地域の状況認識：

当法人職員にとって、アンケート等により地域の実情を実感として感じ取ることができた。

④当法人職員の人材育成：

「地域での心豊かな生活のために」という当法人理念について、今回係わった職員が実践的に学習できたように感じた。職員が喜んでいたのが印象的であった。



今後の課題及び展開

- ①当該地域については年1回のモニタリングの会議を行うとともに、数年後に計画の見直しを行う。
- ②他の小地域について同様な計画の策定を働きかける。